

ID： 患者氏名： 様

	入院当日(～治療前日)	化学療法当日	治療2日目	治療3日目～	退院日															
	月 日(～ 月 日)	月 日	月 日	月 日～	月 日															
目標	治療の経過が分かる	予定どおりに治療が終了する	症状出現時は適切な対処が受けられる		退院指導の内容が分かる															
説明・指導	入院・治療について説明します。 予測される副作用および予防法・出現時の 対処方法について説明があります。	点滴中、針の入っているところが痛くなったり、腫れたり、重苦しくなったら、すぐに教えて下さい。 ふらつき・目まい等があるときは必ず看護師を呼んでください。 副作用症状がひどいときは、遠慮せずに話してください。			退院指導を行います。(生活指導や次回外来再診日の連絡) 次回から外来化学療法を行う場合は、外来化学療法室のご案内・説明を行います。															
治療処置点滴		9時頃 点滴の針を入れ、準備します。  <b>スケジュール</b> <table border="1"> <tr> <td>①</td> <td>30分間</td> <td>グラニセトロンという吐き気止めとデキサートというアレルギー予防剤(ステロイド)の点滴をします。</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>1時間</td> <td>ドセタキセルを点滴します。</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>1時間</td> <td>カルボプラチンを点滴します。</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>5分間</td> <td>点滴の管を流すため、生理食塩液を点滴します。</td> </tr> </table> 終了後、点滴の管をとめます。	①	30分間	グラニセトロンという吐き気止めとデキサートというアレルギー予防剤(ステロイド)の点滴をします。	②	1時間	ドセタキセルを点滴します。	③	1時間	カルボプラチンを点滴します。	④	5分間	点滴の管を流すため、生理食塩液を点滴します。	水分・食事が十分取れない時は点滴を1～2本行います。 体調をみて点滴の針を抜きます。  		抗癌剤の主な副作用 発症時期による症状と対処方法について 【投与直後から数時間】 発疹・発赤・顔のほてり・かゆみなどのアレルギー症状 → 抗アレルギー剤投与 【投与から1～2日後】 便秘症 → 便秘薬(緩下剤)の内服 はき気・嘔吐・食欲不振などの消化器症状 → 吐き気止めの内服 【投与から2～3日後から】 関節・筋肉痛 → 痛み止めの内服 【投与から数日間経過してから】 口内炎 → うがいや抗炎症薬の軟膏を塗布 手指のしびれ → ビタミンB12製剤の内服 白血球減少 → G-CSF製剤(白血球を増やす薬)を注射 貧血 → 輸血(頻度は稀です) 血小板減少 → 血小板輸血(頻度は稀です) 【投与から1～2週間経過してから】 脱毛 → かつらやバンダナなどを使用 味覚の変化 → 味付けの工夫、うがいや亜鉛製剤の内服			
①	30分間	グラニセトロンという吐き気止めとデキサートというアレルギー予防剤(ステロイド)の点滴をします。																		
②	1時間	ドセタキセルを点滴します。																		
③	1時間	カルボプラチンを点滴します。																		
④	5分間	点滴の管を流すため、生理食塩液を点滴します。																		
内服	デカドロンというむくみ予防の薬を朝に1錠ずつ内服します。(治療前日の夕食後～治療2日目の朝食後まで)				外来でも、吐き気止めや便秘薬の処方を行います。 															
検査	次の検査をすることがあります。 血液検査 胸のレントゲン 心電図検査 	6時 体温と血圧を測ります。	体調を見て血液検査を行います。		外来で採血をして、骨髄抑制(白血球減少、貧血、血小板減少)の有無を確認します。 白血球減少が認められた場合は、次回の化学療法を延期し、白血球を増加させる薬を注射することがあります。 うがい、手洗いをし、マスクをつけ感染予防をしてください。															
食事	基礎疾患(糖尿病・高血圧など)に応じて、治療食をお出しすることもあります。	食欲に応じて食事変更が出来ますので、医師・看護師にお話ください。 	*1コース21日で以下の予定で行います																	
生活・行動	特に制限はありません。				<table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>8</td> <td>15</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>ドセタキセル</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>カルボプラチン</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		1	8	15	21	ドセタキセル					カルボプラチン				
	1	8	15	21																
ドセタキセル																				
カルボプラチン																				
清潔	入浴、またはシャワー浴ができます。	点滴治療中以外は、入浴、またはシャワー浴ができます。 点滴の針が濡れないように出来ますので、入浴またはシャワー浴のときはお知らせください。 体調が悪く、入浴・シャワーが出来ないときは、看護師が援助いたします。																		
その他	入院後に熱が出た場合は、化学療法を延期し、いったん退院していただくこともあります。 入院に、付き添いは必要ありません。	抗癌剤点滴開始初期(特に10分以内)に発疹などのアレルギー症状が現れることがあります。 ほとんどは一時的なものでおさまりますが、症状が出現した場合は申し出て下さい。																		

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることがあります。